

SMILE!
スマイル

健康の秘訣は川辺の散策 アルバイトでさらに生き生き

夏場は健康のために近くを流れる漁川の縁を歩いて、移り変わりやそこで出会う人との会話を楽しんでいきます。けれど冬は閉じこもりがちになるので、アルバイトは体のために良いですね。これから雪かきは終わりますので、春に向かって、例えば農園など施設の外の仕事をしてみようかと考えています。アルバイト料は、夏場に使う運動着や靴を買う足しにするつもりです。やりがいがありますよ。

私はこちらに昨年10月のオープン時から入居しています。就労を勧めていることは知りませんでしたが、職員の方に教えてもらい、雪かきのアルバイトを始めました。雪かきは、夜勤スタッフと天気予報を見ながら相談し、スタート時間を決めます。大抵朝6時から始め、日勤スタッフが出勤する前の7時ごろに終わらせます。玄関前と避難場所となっている建物横のスペースを中心に、駐車場入口も雪をどけます。終わればちょうど、7時半から朝食。すっきりした気分で食事ができます。この冬に25回程働きました。



雪かきアルバイトスタッフ
田中 昭彦さん(73歳)



集め終わったらプラスチック類や缶、紙ゴミなどに分別して終了。恩田さんは仕事をするのが「楽しい」と笑顔を見せます。



ホールの壁に求人票を貼り出しています。



雪かきのアルバイトに励む田中さん。

入所1カ月の恩田千鶴子さん(81歳・要介護1)は、ご家族からも「家で座っていることが多かったのですが、こちらでは何か役割を持つ生活を」との要望があり、ゴミ集めのアルバイトを自ら希望して始めました。毎週月・水・金曜の朝、スタッフと共に大きなビニール袋を持ち「ゴミはありますか?」と各部屋を巡回。



医療法人社団 慶心会 住宅型有料老人ホーム シニアハウス黄金

■住所 恵庭市黄金中央4丁目7-1
■電話 0123-25-3212

全国約70校の専修学校を展開している「滋慶学園グループ」の北海道医療福祉事業部である「医療法人社団 慶心会」が運営。同ハウスでは利用者の「生きがい」「地域とのつながり」づくりを目的に、無理なく続けられる仕事を紹介している。

元気を支える チカラたち

医療・福祉の現場から

仕事を通して老後の暮らしに活力を

高齢者が日々を過ごす住宅型有料老人ホーム「シニアハウス黄金」では、入居者に就労の機会を提供し、生きがいづくりを進めています。身の回りの人々に役立つことでやりがいを感じ、軽作業で体を動かして健康を保つ、新しい取り組みについて伺いました。

さまざまな効果が期待できる
「仕事のできる老人ホーム」

「シニアハウス黄金」の運営母体である「医療法人社団 慶心会」では、「より快適な老後のライフスタイルを創造し、社会に貢献すること」を理念として掲げています。そうした自ら課したミッションの達成に向け、当施設では昨年10月の新規オープンに際し、高齢者の方に生活の場や介護サービスを提供する他に何ができるかを考え、「就労」を柱に据えることに行き着きました。

現代は、高齢となってもお元気で「何かしたい」と思っている方は少なくありません。健康管理や看護体制の行き届いた施設で暮らし、安心して働くことができれば「生きがいづくり」になると、私たちは考えました。適度に体を動かせば心身の弱体化の予防となり、健康の維持・増進は地域医療や介護にかかる費用の削減にもつながります。また、近年あらゆる業界が頭を悩ませている人材不足解消の一助となると同時に、地域で活躍する高齢者の姿が増えると活気も生まれると、期待しています。



施設長 栗林 和弘さん(36歳)

働き手を募集している職種は、当施設内のゴミ集めや雪かき等の他、外部法人が募る農作業など、心身への負担が少ない補助的な役割が中心です。利用者様が集まる食堂横のホールの壁に求人票を貼り出して希望者を募り、私たちの事務所を通して契約を行っていただきます。

これからの春、夏の期間は農作業や園芸関連の仕事も増えてくる予定ですので、よりサポート体制に力を入れていきたいと思っています。

介護職の基本は明るいあいさつ 未経験でも働ける職場です

高齢者の方を支えるスタッフは、明るくあいさつできるかどうか大事な基本だと思っており、採用時の資格の有無にはこだわっていません。当施設では職員研修の制度を整えていますので、未経験でも安心して働いていただけます。経験に応じてスキルを上げ、自己評価を行えるシステムにもなっており、自身の成長が実感できる職場だと思います。

私自身これまで介護にかかわる仕事を続けてきて、難しいけれど奥深く、やりがいのある職種だと感じています。この介護職の核は、さまざまな人と接すること。利用者様も自分自身も楽しい時間が送れるよう、アイデアを凝らす必要があり、取り組みが成功した時は「素晴らしい仕事」と思えます。その方の健康を維持できたり、困難な場面が少しでも解消され「ありがとう」との言葉をいただけること、大きな励みになります。